

きらりいわた人



原作が「世にも奇妙な物語」で実写化

ひろあき

寺田 浩晃さん

1995年生まれ。福田在住。日本人の成人で数百人しか患者がいない指定難病「好酸球性胃腸炎」を患う。自身の病気と日常を描いた漫画のYouTube動画「はじめまして」は再生回数80万回を超し話題になっている。

難病を患いながらも

夢を諦めず、先月に放送された民放ドラマ「世にも奇妙な物語」で「三途の川アウトレットパーク」が原作に採用された漫画家・寺田浩晃さんにお話を伺いました。



▲実写化された原作

順風満帆だった漫画家としての出発

漫画家になるのは幼い頃からの夢でしたが、高校まではサッカーをやっていたあまり描いていませんでした。高校3年で部活をやめてから描いた漫画を大手出版社へ送ると「才能がある」とスカウトされました。

指定難病「好酸球性胃腸炎」

2年前、漫画雑誌に念願の連載が決まった頃、自分が病気であることがわかりました。しかも、治療方法が確立していない難病。この頃は、自分の現状や将来を思うと絶望しもなく「死にたい」「死んだ方がマシ」とも思っていました。

どん底でも射した光明「漫画」

症状も重く、痛みでこのまま死ぬのかなと思ったときに、自分の生きた証を残したいと思いました。「死」を受け入れることによって前向きになれたんです。やりたいことをやろうと。僕にとってはそれが漫画だったんです。

漫画なのに動画、新たな挑戦

病気と付き合いながら制作活動の再開を考えたとき、自分のペースで無理をせず、表現したいものを伝える方法が動画でした。最近の漫画は単純明快で分かりやすいものが多いですが、僕はもっと小説に近い読み応えのある重厚な作品を作りたいと思っていますので、映画を撮るような気持ちで作っています。

僕の動画は完成した漫画をばらして、パーツごとに動かしていくので、手間がかかり完成させるのに1作品3〜4カ月かかります。でも、自分のやりたいようにできるのでとても楽しいです。監督・編集・作画と全てを自分でやっているのは僕ぐらいじゃないかな。

自分の作品が有名ドラマで実写化

テレビ局から実写化の連絡が来たときは本当に驚き「信じられない！」という気分でした。テレビで原作者として自分の名前を見たときはうれしかったですね。

これからの活動について

病気で食事や行動など、制限が多い生活ですが、今こうして漫画を描くことができます。今こうして喜びを感じています。これからも自分の描きたいもの、良いと思うものを皆さんに見ていただけたらと思います。動画作品だけでなく誰かの心に残る、ずっと身近に置いてもらえるような本をいつか出せたらいいですね。

